

HONDA CIVIC

機能性もルックスも高めたい
特選エアロパーツ図鑑



No.8

土屋圭市／織戸 学
オレ流 FL5の仕上げ方

限界突破
新たな領域へ!
チューニング最前線



TEST&REVIEW

注目アイテム
詳密解説



FD～FLまで
完全網羅

走りの18/19インチから魅せる20インチまで
SPORTS WHEEL GALLERY
FL5シビックタイプR最新デモカー
サーキット／ワインディングテスト!

掲載
アイテム **1800**オーバー
チューニング&ドレスアップ
パーツカタログ



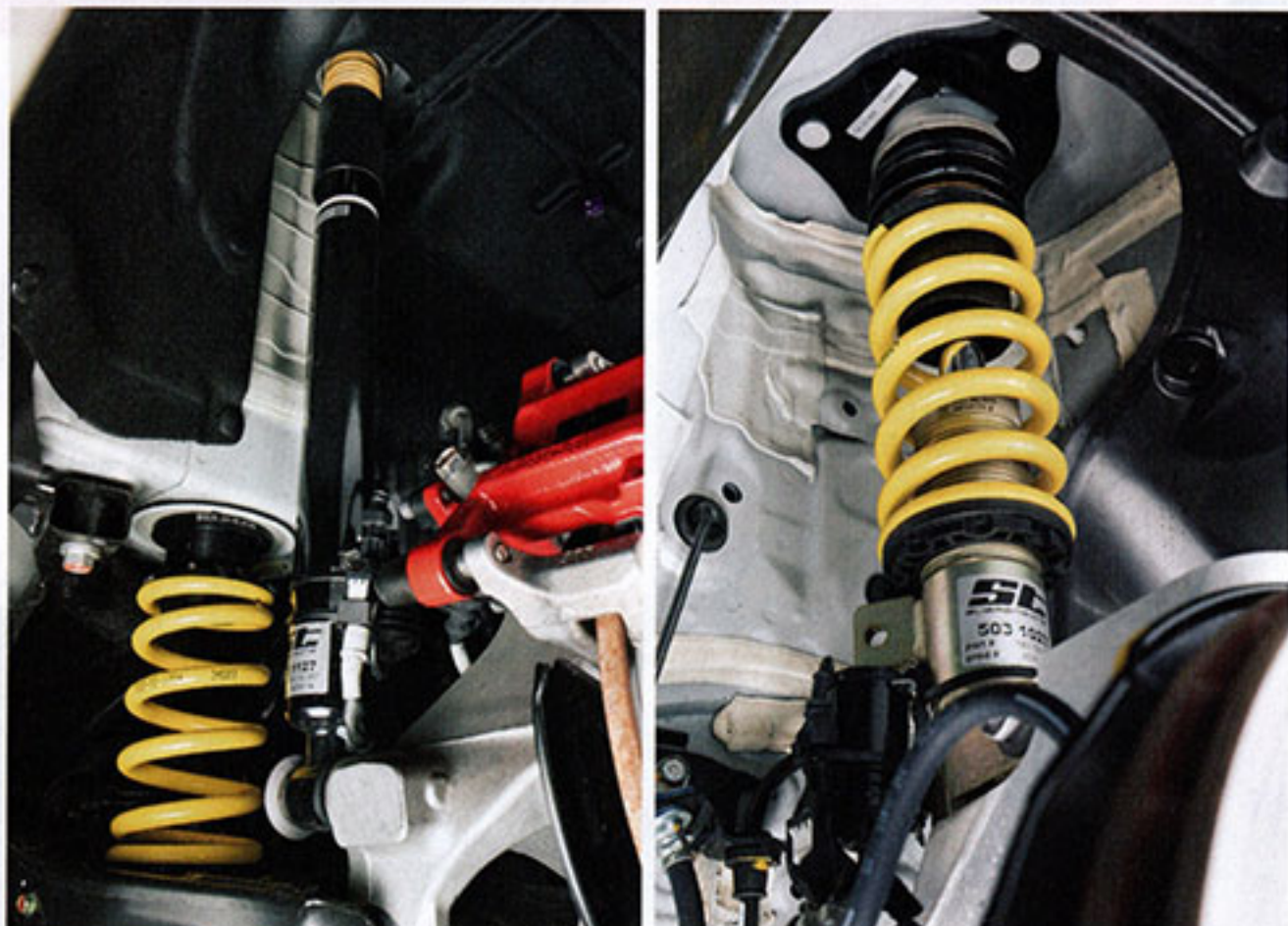
ホンダアクセス製のテールゲートスポイラーは、開発アドバイザーを務める土屋氏が実装テストを繰り返し開発した自信作。そのほかフロントリップとサイドステップ、トランクスポイラーはエイムゲインをチョイス。ボディと一体化を目指した塗りわけ塗装もこだわった。



土屋流のパーツチョイスでは「軽さ」も重要で、マフラーはチタン素材のフジツボ製とした。



レース参戦開始当初から、土屋氏のドライブを支えているのがブリッド製の高性能シート。FL5では運転席にフルバケのZETAM、助手席にSTRADIAⅢの「KING」モデルを装着。ヘッド&バックレストの両面に「戦人」ロゴの刺繍が施されたスペシャルエディションだ。



トヨタ86ベースのDK86で初装着して以来、性能の高さで選り抜けているのがKW製の車高調。FL5ではコストに優れたKWの別ブランドSTのXTAを装着して、ステージに合わせたセッティングをテスト。今後KWブランドのクラブスポーツでのテストも行う予定だという。



エクステリアのワンポイントアクセントとなっているフレイムレッドカラーのミラーカバーはホンダ純正アクセサリ。防眩性の高いブルーミラーは、「KEIICHI TSUCHIYA」ブランドのオリジナルだ。



土屋氏が約30年前にプロデュースした「ドリドリメッシュ」のイメージはそのまま、最新の技術で蘇った軽量・高剛性な鍛造ホイール。9.5J×18+45サイズを装着。タイヤは265/35で街乗りではミシュランPS4、サーキットではポテンザRE-12Dを履く。

力は色褪せることはなかったようだ。ここで紹介するのは約1年をかけて、こだわりのパーツチョイスとカスタマイズが施された土屋圭市スペシャル。あくまでもストリートに軸足を置きながら、サーキットでも気持ちよくハイパフォーマンスを楽しめる走りの良さがコンセプトとなっている。エクステリアは土屋氏が開発アドバイザーも務める純正アクセサリーのホンダアクセス/Moduroのトランクスポイラーやドアミラカバ

ーに加え、ボトム部にエイムゲイン製のスポイラー&サイドステップを追加。ボディカラーに合わせたホイールは、オリジナルの「ドリドリメッシュVer.2」だ。快適性と高境界を両立する足まわりのポイントは、Z6トヨタ86に装着して以来のお気に入りとなっているKW製のサスペンション。市販モデルの仕上がりには大満足とのことだが、さらなるフィーリングアップを狙ってKWジャパンの

協力のもと仕様変更を行ったりしている。またパーツ選びではデザインや性能に加えて、軽さも重視しているのが土屋氏流のカスタマイズ。フジツボ製のチタンマフラーや、そしてなんといっても自身のレース活動を常に支え続け、絶対の信頼を寄せているブリッド製ジータIVスペシャルエディ

ションがそのこだわりを示す部分といえるだろう。今後も理想を追求するカスタマイズは続く予定で、パワー系はMAX ORIOのECUセッティング、駆動系にはLSDの装着を検討中。YouTubeチャンネルなどを通じてユーザーへ発信されるカスタム情報にも期待だ。

オールラウンド性能を追求し、今後もさらなる進化を計画中。25年シーズンもスーパーGTを戦っているARTAのエクゼクティブアドバイザーを務めている土屋圭市氏。ドリキン（ドリフトキング）の愛称で、カスタマイズを楽しむクルマ好きの兄貴分としても人気の同氏が、昨年新たな愛車として迎えたのがFL5だ。

FL5を選んだのは、先行で行われたFL1の試乗会がきっかけだったという。ボディのデザインはさらにスタイリッシュとなり、インテリアの質感も向上。Fを感じさせない自然なドライビングフィールも好印象だった。タイプRの登場を待って速攻でオーダー。納車には約2年かかったものの、待ちわびる期間にも魅



達人のクルマ作りに迫る

土屋圭市 FL5

独自の厳しい目でパーツをチョイスしてカスタマイズされたFL5土屋圭市スペシャル。ストリートマシンとしての快適性は維持しながら、スタイリッシュでハイパフォーマンスなマシンを追求している。

Hyper Rev Special Report



性能にこだわったパーツチョイスが光る
ドリキン流のパフォーマンスアップ術!

ハイエンドモデルに与えられた 伝統的工芸品「西陣織」の美しさ edirb 172 NC

伝統的工芸品「西陣織」の技術を用いて織りあげたカーボン素材【NISHIJIN CARBON®】をシェルに採用して高い剛性、強度、ホールド性、快適性に加え、最上位クラスのエレガントさを演出しているプレミアムシート。ベルトホール下にはゴールドの刺繍が施されている。

リクライニング機構を装備するモデルはガイアス3をベースとした[161 NC/162 NC]とストラディア3をベースとした[171 NC/172 NC]、フルバケットはジータ4をベースとした[0A1 NC]とジグ4をベースとした、[0B1 NC]がラインアップされている。

西陣織の伝統工芸士が最新の素材や技術を取り入れ、長年の経験と伝統技法を融合させたカーボンを採用。日本の代表的な伝統文様、繁栄や長寿を意味する縁起の良い「紗綾形(さやがた)」に織り上げられている。



XEROシリーズ3機種 プラスへの進化に注目！

ブリッドが長年培ってきた純レース用シート開発のノウハウを凝縮して生まれたのが、XERO(ゼロ)シリーズ。FIA公認競技の多くのカテゴリで義務化または推奨されているヘッドガードを採用した、新世代のレーシングフルバケットシートなのだ。このシリーズには4バリエーションが用意されているが「XERORS PLUS」「XEROVS PLUS」に続いて、中型ヘッドガード&深いサイドサポートを採用している「CS」も「XEROCSP PLUS」にリニ

アル。各モデル共にPLUSへのリニューアルにあたってヘッドガードの外側まで生地が覆われ、背面ハーフカバータイプとなったことで後席のある車両でもそのまま車検に対応できるように進化。ストリートカーやワンメイクレース車両での使い勝手が向上していることに加え、XERORS PLUSとXEROCSP PLUSにはヘッドガード部にオシャレな刺繍も追加されている。

また、腿から脇にかけてのサイドサポートの内側にはキルティング加工を施した生地を採用することでフィット感と座り心地が向上しているのも見逃せないポイントだろう。

シビックのカスタムに必須の 高品質／高性能シートを大公開！

XERO RS PLUS

[ゼロ RS プラス]

価格：19万5800円～26万4000円



シェル：FRP/スーパーアラミド製ブラックシェル
COLOR：ブラック/グラデーションロゴ/レッド
SPEC：保安基準適合/FIA規格取得

「プラス」シリーズはシート背面がハーフカバーとなっているので、そのまま車検にも対応できるスペックとなっている。大型ヘッドガードモデルながらストリートでも安心して使うことができるのが嬉しい。こちらのモデルにも導電性表皮材「カブロンST®」が採用されている。



XERO CS PLUS

[ゼロ CS プラス]

価格：15万9500円～22万8800円



シェル：FRP/スーパーアラミド製ブラックシェル
COLOR：ブラック/グラデーションロゴ/レッド
SPEC：保安基準適合/FIA規格取得

ヘッドガード部のロゴ刺繍がとってもオシャレ。導電性表皮材「カブロンST®」によってドライバーと周辺に溜まっている静電気をボディ全体に分散させて帯電量を軽減。操縦安定性の向上と快適なドライビングに寄与するのはRSプラスとVSプラスと同様だ。



XERO VS PLUS

[ゼロ VS プラス]

価格：14万3000円～21万2300円



シェル：FRP/スーパーアラミド製ブラックシェル
COLOR：ブラック/グラデーションロゴ/レッド
SPEC：保安基準適合/FIA規格取得

シリーズ中、もっともコンパクトなヘッドガード&サイドサポートを採用しているVSも「プラス」へと進化。スペースの関係でヘッドガードへの刺繍は採用されなかったが、導電性表皮材「カブロンST®」の採用など最新スペックを装備している。



BRIDE

[ブリッド]

ブリッド ☎052-689-2611 <https://brideseats.com>



「シビックを自分好みのカスタムを施して楽しみたい」と願う皆さんに向け、各パーツメーカーからの最新情報をお届けするコーナー。インテリア&エクステリアからマフラーまで、本誌がピックアップした高品質なチューニング&カスタムパーツをご紹介します！

高いホールド性を誇る プレミアムフルバケットシート

edirb 0B1

[エディルブ 0B1]

価格：24万2000円

ブリッドのプレミアムモデルである「エディルブ」シリーズの0B1は猫背形状のデザインが特徴的なブリッド ジグ4をベースとしたフルバケットシートだ。

深く包み込まれるようなドライビングポジションで高身長の人や、サーキット走行などでより高いパフォーマンスを求めるドライバーなどから高い支持を集めている。深い着座ポジションとなるため、標準的なジータ4系のシートと比較して目線の位置がより下がるのもポイントだ。

表皮にプロテインレザー™/ウルトラスエード®/ヴィーガンレザー【ビガブリモ】の3つの素材を用いることで機能性と高級感のあるデザインを実現。背面ハーフカバーにより、そのまま車検にも対応してくれるフルバケットシートの逸品だ。



シェル：カーボン製シェル
COLOR：レッドステッチ/グレースステッチ/ブルースステッチ
SPEC：保安基準適合/FIA規格取得

フルバケ並みのホールド性と快適性を融合 アクセントカラーを選べるニューアイテム

GIASⅢ REIMS

[ガイアス3 レイムス]

価格：26万4000円

モノコック構造のシェルによる高い剛性とリクライニング機構による快適性を兼ね備えた「ガイアス3」。そんな高性能シートをベースに高級スウェード調生地シート背面をフルカバー、アクセントとなるカラーラインをバックレスト/ショルダー部/背面部/ステッチにあしらったのが「ガイアス3レイムス」だ。

スポーツ走行で求められるホールド性能に加え、利便性・快適性・耐久性などを兼ね備えている人気モデルとなっている。

シェル素材はFRP製シルバーシェルで、カラーバリエーションは3種類、それぞれ腿部クッションはスタンダードクッションとロッククッションの2タイプを用意。HANSなどFHRシステムに対応した大径ベルトホール、6点式レーシングハーネス対応の座面ベルトホールといったサーキットを攻めるユーザーにできる作り込みも見逃せない。



シェル：FRP製シルバーシェル
COLOR：ブラック&ブラック
ブラック&レッド/ブラック&ブルー

シートレールにもこだわりを満載！

シート交換の重要なポイントとなるシートレールだが、ブリッドではFL系シビック用としてシート装着時のヒップポイント高が2cm違う2タイプをラインアップしている。

「できるだけローポジションに仕上げたい方はH061(右席)&H062(左席)、高めドライビングポジションが好みの方や低すぎでちょっと前が見にくい場合はH049(右席)&H050(左席)をチョイスして下さい」ということ。ブリッドではシート本体はもちろん、シートレールにもとことん拘っているのだ。



FL1/4/5用のシートレールは最大限ローボジションを目指したものの(写真右)と、それに比較して2cmアップ(写真左)という2バージョンが用意されている。体型や好みに合わせてチョイスしよう。

1981年の創立以来、常に業界をリードし続けているブリッド製スポーティシート。モータースポーツで性能を磨き上げた独自のスポーツシートは、日本が世界に誇るトップブランドとして不動の地位を誇っているのはご存知だろうか。

そんなブリッドのラインアップは非常に幅広く、フルバケットシートから高いホールド性を持ちながらもリクライニング機能を備えたモデル、近年ではスリムな女性や小柄なドライバーに合わせたモデルもリリースしており、こちらも大好評となっている。

そしてこれら300を超える豊富なアイテムのラインアップはすべてメイドインジャパン。厳選した素材を熟練のスタッフが手作業で仕上げ、保安基準をクリアする高い安全性を獲得。その証拠に日本製では初となるFIA公認も取得している安心のブランドなのだ。

写真のモデルは、edirb 161
スタンダードクッション
レッドステッチ(G61PBC)です。



BRIDE SUPER SEAT
BRIDE CO., LTD.

ブリッド株式会社 BRIDE®は、
ブリッド株式会社の登録商標です。

〒476-0015 愛知県東海市東海町1丁目11番1号

電話.(052)689-2611 ファクス.(052)689-2612

※掲載製品の仕様・デザイン・価格等の変更及び、販売終了を予告なく行う場合がありますので、予めご了承ください。

edirb 161&162

写真のモデルは、edirb 162
ロークッション
レッドステッチ(G62PBC)です。

The excellence.

ブリッド&エディルプの最新情報は、こちら!
<http://bride-jp.com>

